

港区エリア別活性化プランの策定について

エリア別活性化プラン策定の背景

大阪市港区
まちづくりビジョン



いちばん住みたいまち、
住んで誇りに思えるまち 港区

平成28年7月
大阪市港区役所

平成28年7月 大阪市港区まちづくりビジョン改訂

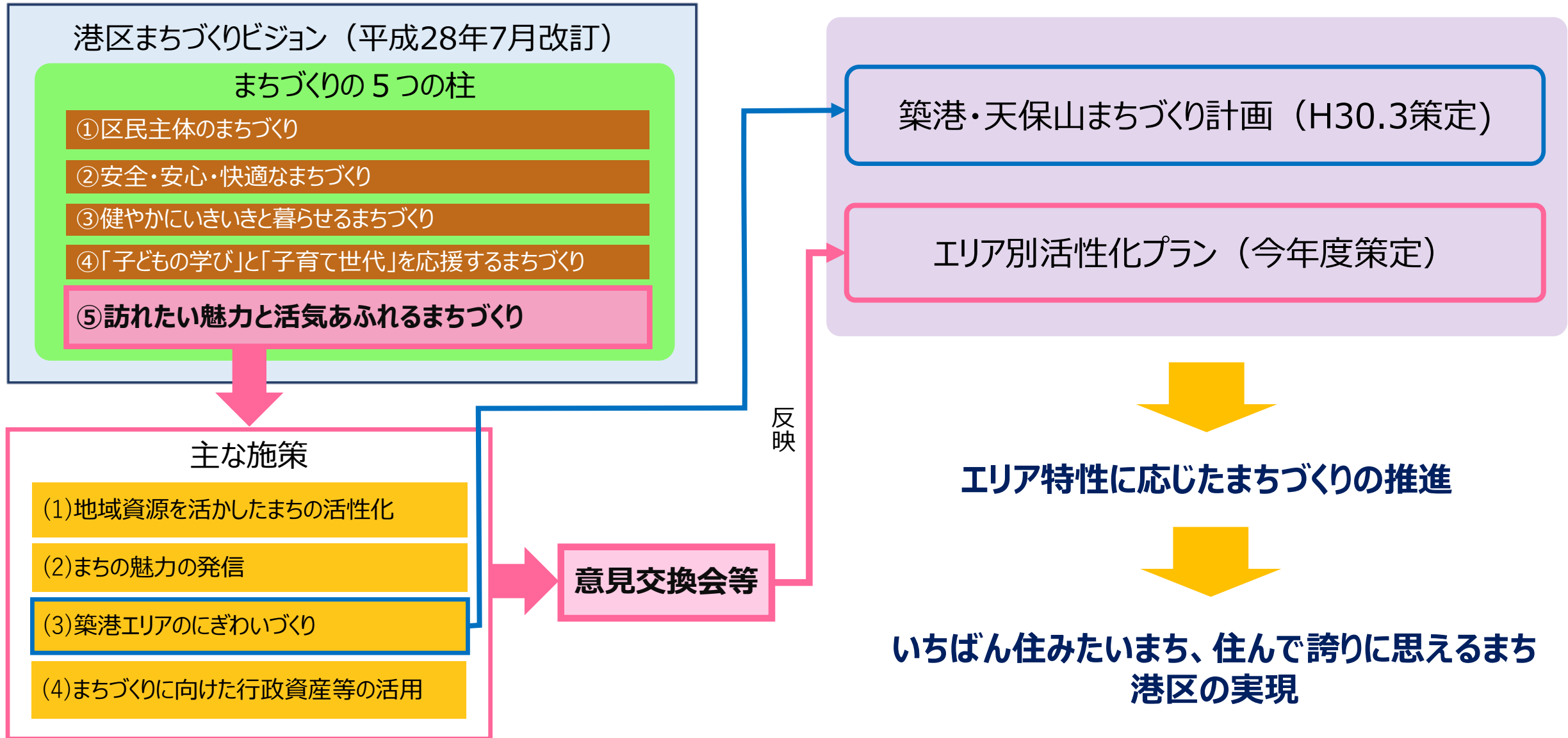


訪れたい魅力と活気あふれるまちづくりの推進



施策の具体化にむけて、エリア別活性化プラン策定へ

港区エリア別活性化プランの位置づけ



港区エリア別活性化プランの策定に向けた意見交換会の実施結果

【開催日】 令和元年8月21日

【会 場】 ゆめホーム「ゆめ」 かなえる港区民センター1階ホール

東部エリアに関する主なご意見

- 弁天町周辺、築港地域に外国人が多く来訪してもらうことで、港区全体に人が集まる仕掛けをつくるなど、交通流動、ネットワークや地域特性を踏まえたストーリー性を持ったまちづくりが必要
- 民間活力による既存施設、公共空間の活性化などを進めるため、公民連携によって規制緩和などを実現する仕組みづくりが必要
- 災害に強く、住みやすいことを基本としたまちづくりが必要
- 国道43号線等により地域が分断されており、高齢者なども移動しやすいようにバリアフリーの推進が必要
- 弁天ふ頭周辺の活用による魅力、賑わいづくりが必要

中部エリアに関する主なご意見

- 住宅地域であり文教地区であり、これに沿ってまちづくりをすべき
- 子育てしやすいまちを前面に押し出したまちづくりを進めるべき
- 若い人が入ってこれるよう、市営住宅のリニューアル（子育て世代向けのつくりにするなど）や古い住宅の活用を行うべき
- エリアの魅力増進には、特徴ある施設やお店が必要
- 商店街、八幡屋公園、中央体育館、大阪プールの活性化が重要

港区の活性化にむけた取り組みの方向性（案）

- 方向性① 湾岸部と都心部・府外をつなぐターミナルとして、新たな価値や面白さを創造し再発見するまちづくり
- 方向性② 水辺の特性や公園などのポテンシャルを活かした快適な居住環境を推進するまちづくり
- 方向性③ 多様な関係者との公・民・地域連携による創業・継続のしやすいまちづくり

港区の3エリア連携のイメージ図

